

令和3年度第3回高松市高齢者保健福祉・介護保険制度運営協議会会議録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	令和3年度第3回高松市高齢者保健福祉・介護保険制度運営協議会（書面会議）
開 催 日 時	令和4年2月15日（火）～2月24日（木）
開 催 場 所	書面会議
議 題	（1）指定地域密着型サービス事業所の指定等について （2）指定地域密着型サービス事業予定者の公募選定結果について （3）地域ケア会議について
公開の区分	☒ 公開 ☐ 一部公開 ☐ 非公開
上 記 理 由	
出 席 委 員	山下会長、虫本職務代理、石川委員、今城委員、上田委員、植中委員、喜田委員、喜多委員、小西委員、近藤委員、鈴木委員、田中(邦)委員、田中(克)委員、野上委員、萩池委員、古川委員、前田委員、松村委員、三瀬委員、元木委員
欠 席 委 員	
傍 聴 者	
担当課及び連絡先	長寿福祉課 087-839-2346

審議経過及び審議結果

各議題に係る御意見等について、高松市高齢者保健福祉・介護保険制度運営協議会へ意見聴取を行うものである。
意見の概要及び市の考え方等については、次のとおりである。

意見の概要及び市の考え方等

（1）地域密着型サービス事業所の指定等について

意見の概要 近所の通所介護事業所が廃止された。廃止の理由は分からないが、多くの人が利用していたので、残念に思う。

市の考え方等 通所介護事業所の、この1年間の主な廃止の理由としては、経営状況の悪化や施設の老朽化などが挙げられます。なお、事業所から廃止の相談があった場合は、利用者が困らないように、別の通所介護事業所やサービスへ円滑に移行し、利用できるようお願いしております。

（2）指定地域密着型サービス事業予定者の公募選定結果について

意見の概要 優良な事業者であってほしいと願う。

市の考え方等 公募選定に当たっては、事業主体の適格性や施設運営の安定性をはじめ、各種評価項目による審査や、市職員以外の外部の識者によって構成される審査会委員によるヒアリングを行うなど、総合的な観点から公平・公正な選定を行っております。また、選定結果については、本市のホームページで公表しております。

(3) 地域ケア会議について

① 地域ケア小会議について

意見の概要 参加者が列挙されているが、この他に社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、福祉住環境コーディネーター、福祉用具専門相談員などを加える。

ケアマネジャーによるアセスメントシートを適切・正確に記載することがより良い介護に繋がる。したがって多くの職種の意見を取り入れていくべきであり、また、偏見性のない公正な立場での作成が必要である。

市の考え方等 幅広い職種の参加により、より多角的な視点でのケアプラン検証が行えるものと考えます。事例に即した検討が行われるよう、参加する職種、意見を求める職種について検討してまいります。

意見の概要 随時開催されている個別ケース検討会参加者は、専門職だけで、地域の社協、民生委員が関わっていないながら出席できないのが残念である。どのような事例があるのかも知りたい。

市の考え方等 個別ケース検討においては、事例によりますが、民生委員や地域の方に参加していただいております。令和3年度は、認知症の進行が疑われる独居高齢者や、介護サービスの利用に拒否的な独居高齢者の支援等の4事例において、民生委員や地域住民の方に出席いただき地域ケア小会議を開催しました。地域の方々と連携することで、本人を孤立させず、地域での共生につながる事例も多いため、地域ケア小会議に参加いただくことの意義は大きいと考えています。

意見の概要 木太地区地域福祉ネットワーク会議については、木太地区は「高齢者や弱者にやさしいまちづくり」を掲げ、令和3年度に、災害時避難行動要支援者名簿に登録されている人を対象に、自治会役員、民生委員による訪問調査を実施した。実施をして気づいた事だが、災害時に支援を必要とする高齢者の多くが介護保険サービスを利用していることから、居宅介護支援専門員（ケアマネジャー）の皆様にも、木太地区の福祉ネットワーク活動を理解していただく会を開催し、共に連携を図って行きたいとコア会議にて決定している。

市の考え方等 災害対応においては、地域との連携が不可欠であり、日頃から顔の見える関係を構築しておくことが重要と考えております。引き続き、地域福祉ネットワーク会議において、協力体制の構築が図れるよう努めてまいります。

意見の概要 昨年までは各施設が休館となり、息抜きの方が減ってしまった影響が大きく、また、コロナに対する考え方がそれぞれ違っていることも、「友人宅を訪ねていない」などに繋がっていると思う。

今年に入ってから休館もなく、利用者も日々活動や外出ができることを喜んでいる。人とのつながりがあれば、どこかしら身体を動かすと思うので、これからもいろいろ

るな形で活動の場を設けていただきたい。

市の考え方等 高齢者の孤立を防ぎ、心身の健康を保つため、介護・福祉の関係機関、民生委員、コミュニティ等幅広い機関と協力し、地域ぐるみでの見守り等の取組を進めていくとともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮しながら、通いの場等の取組が継続できるよう支援してまいりたいと存じます。

意見の概要 資料2 1 ページの、フレイル対策のためには「栄養」「身体活動」「社会参加」を日常生活の中に継続的に盛り込むことが鍵、というのは、そのとおりだと思う。
「社会参加」でいうと、コミュニティセンターの行事が中止になり、集まる機会が減っていたが、発行される通信など、手紙が届くこともつながりになるので、高齢者の社会参加の一つになっていると思う。

市の考え方等 高齢者の孤立を防ぎ、心身の健康を保つため、介護・福祉の関係機関、民生委員、コミュニティ等幅広い機関と協力し、地域ぐるみでの見守り等の取組を進めていきたいと存じます。

意見の概要 個人情報に抵触しない程度に、困難事例検討の対応策などを情報提供する場があると、ケアマネジャー以外でもサービスに活かせるのではないかな。

市の考え方等 介護支援専門員対象のレベル別研修会において、地域ケア小会議（個別ケース検討）の模擬会議を開催し、困難事例の対応策を共有できるよう企画をしております。今後は、より幅広い関係機関と共有できるよう、その手法等について検討してまいります。

意見の概要 地域でのネットワーク会議は、地域特性も強いと思うが、自地域での取り組みのヒントとして、また、行き詰まりの打開策として、他地域の取組が閲覧できるような仕組みはあるのか。

市の考え方等 地域福祉ネットワーク会議により設置された、住民主体のサービスBについては、担い手交流会の開催や活動報告（冊子）を作成し情報交換を行っております。また、社会福祉協議会の生活支援コーディネーターが各地域の取組状況等を把握したうえで、地域福祉ネットワーク会議の支援に当たっております。

意見の概要 通所介護事業者協議会では、本年度より始まった「LIFE」への取り組み状況を調査し、デイサービスにおける科学的介護の推進がより効果的な介護サービスの提供につながることを、研修を通して発信している。フィードバック等による効果測定はまだ先になるが、取り組むことの必要性はフレイル対策にも通じるところがあると思うので継続していきたい。

市の考え方等 LIFE による科学的介護の推進が図られることを期待しております。今後とも情報共有等よろしくお願いいたします。

意見の概要 コロナ禍が続く中、とても良い取り組みだと思う。ケアマネジャーへの支援をしっかりとお願いしたい。

市の考え方等 今後も引き続き、地域ケア小会議や介護支援専門員対象のレベル別研修会、情報交換会等を開催し、介護支援専門員への支援と情報共有を行ってまいります。

意見の概要 地域ケア小会議（個別プラン検討）の開催回数を増やしてほしい。ケアマネジャーだけではなく、会議参加の多職種の人にもスキルアップできると思うので、できるだけ多くの人に体験してほしい。

市の考え方等 高齢者保健福祉計画に基づき、計画的に開催回数を増やしてまいりたいと存じます。

② コロナ禍における影響

意見の概要 コロナ禍でのチェックリストの集計から、外出の機会が減少していることにより、フレイルの状況となっている方が増加していることがよく分かる。また、チェックリストを受ける方も昨年よりも増加傾向にあるように思う。

チェックリストを受けるきっかけはどのようなルートが多いのか、地域ケア会議から繋がる方はどれくらいいるのか。

市の考え方等 基本チェックリストは、介護サービス利用の際の事業対象者の認定に用いるほか、介護予防ケアプランの作成または更新時に実施しています。基本チェックリスト実施者が増加傾向にある背景には、高齢者人口の増加の影響はもとより、長期化する自粛生活の影響を受け、心身の状態が悪化したことにより、本人や家族が地域包括支援センターやかかりつけ医等に相談し、介護認定等に至る場合が増えているのではないかと考えています。

なお、地域ケア小会議（個別ケース検討）の事例で、サービス利用につながる方は少数です。

意見の概要 基本チェックリストについて、該当者割合の変化は新型コロナウイルスの影響が大きいと考える。

市の考え方等 基本チェックリストの結果から、新型コロナウイルス感染症の影響による外出や交流の機会の減少が、心の健康や身体機能の低下に影響を及ぼしていると考えております。

意見の概要 いつもながら気がかりなのは、各種イベント（展覧会、各種講座、同好会など）の男性参加者が少ないことである。

市の考え方等 今後も、年齢や性別、生活環境に関わらず、積極的に参加していただけるような内容を検討し、事業を実施してまいります。

意見の概要 「食生活の乱れ」「運動不足」「社会参加の減少」が挙げられているが、もっともなことと思う。それに関連して、「健康状態」とは、①心身機能・身体構造、②活動、③参加の3要素から構成されているといわれる。医療者の側から、日頃から上記の①に関する疾病に関しての治療のことだけではなく、②と③についても、診察の際にその必要性和重要性を述べ、できるだけ具体的な方法などを勧めることが肝要であると考え励行している。

また、身近な窓口として「ケアマネジャー」の役割はとても大きな役割を占めるが、

彼らのアセスメントにより、専門職（看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士など）にも積極的に参加してもらい、多職種協働によって支援を向上していくことを期したい。

市の考え方等 引き続き、地域ケア小会議の開催により、ケアマネジャーのアセスメント力の向上を支援することはもとより、多職種のネットワーク構築を図りたいと存じます。

意見の概要 個々の市民の「心の健康」に、行政側がどのような形で、如何に関与、エンゲイジ出来ると考えているか。

市の考え方等 地域包括支援センターでは、ケアマネジャーが利用者に対し、興味関心チェックシートを用いて趣味や社会参加への興味や希望、目標を情報収集しながら、1年後の目標を設定し、前向きに取り組めるよう支援に努めております。

③ With コロナ時代のフレイル対策

意見の概要 フレイル対策は必要だと思うが、現在のように毎日400人を超える新型コロナウイルス感染症の感染者が発生する状況下では、どのような対策をとることができるか。

市の考え方等 フレイル対策として、栄養面では、3食欠かさずバランスよく食べ、規則正しい生活を心がけること、身体活動面では、人込みを避け散歩をする、家の中や庭等で体操を行う、家事や農作業で身体を動かすなど、個人の心がけや取組も重要と考えております。
地域包括支援センターでは、介護支援専門員が、利用者にフレイル予防のリーフレットの配布やのびのび元気体操の動画を紹介し、フレイル予防に取り組めるよう支援しています。

また、高松市ホームページ「もっと高松」上に、自宅で取り組める体操の動画をはじめ、様々な情報を掲載してコロナ禍においてもフレイル対策に努めています。

意見の概要 ケアマネジャーのアセスメント力向上の取り組みについて、これまで、全体のどれくらいのケアマネジャーが個別プラン検討を受けることができたのか、また、全員が参考になったとのグラフが示されているが、具体的にどのような学びがあったのか、その情報共有の取り組みについても聞かせてほしい。

市の考え方等 現在、介護予防ケアマネジメントを行うケアマネジャーは、委託、直営含め約570名おり、平成29年度から令和3年度まで、のべ404名の方に個別プラン検討の事例を提供していただいております。

アンケートでは「アセスメントに対して視野が広がった」、「利用者の強みを知ることができた」、「インフォーマルな資源を知ることができた」等の意見が多数あり、参加者のうち99%が、次回のケアプラン作成に活かすことができると回答がありました。

また、会議内容については、地域ケア小会議事例集としてまとめ、アドバイザーや参加者にフィードバックしています。

意見の概要 With コロナ時代のフレイル対策の取り組みについては、ICT活用、専門職との連携、人とのつながり、生き甲斐づくりということだと理解したが、まだまだ課題も多いと感じる。

まず、ICTの活用については、例えば、居場所や総合事業B等の運営者自身のスマ

ホやタブレット端末を使用しての取り組みを想定しているのか。

それもある必要ではあるが、市が各所に1台ずつでもタブレット端末を配布する、加えてWi-Fi環境の整備を支援することなどの考えはあるか。

そのほかICTに馴染むことができない高齢者については、やはり電話や紙媒体でのコミュニケーション、情報発信が必要だと感じる。市報が月1回になってしまったこともあるが、各コミュニティセンターが出しているセンターだよりのような、地域に根差した紙媒体の活用を、他課とも連携して取り組む必要があるのではないかと。また、各センターの主任さんが実質的に地域住民の相談機能を果たしているようなセンターもある。まずは現場レベルで、お互いの情報交換のような場、お互いの連携について確認するような場を作ってはどうか。

市の考え方等

出張スマートフォン教室やオンラインによる介護予防教室では、教室を実施する事業者がスマホやタブレットを用意しておりますが、参加者が自分で使えるようになることが主旨であるため、既に所有している人については、御自身のスマホやタブレットを使用し、操作の仕方を習得していただきたいと存じます。また、Wi-Fi環境の整備につきましては、本市では本庁舎や瓦町健康ステーション等にWi-Fiを設置しており、今後の整備については、それぞれ必要性等を検討の上、進めていく予定としているところであり、居場所等各所への端末配布やWi-Fi環境整備の支援は予定しておりません。

センターだより等の地域の紙媒体は、各地域において企画・作成しており、紙面の都合上、高松市からの情報を掲載していただくことが難しい場合もございますことから、コミュニティセンターへのチラシ設置等、有効な方法を検討し、関係課と連携してまいりたいと存じます。

また、本市では「生活支援・介護予防サービス提供体制構築事業」の中で、住民主体で地域課題を把握し解決を試みる体制として、コミュニティ協議会単位に「地域福祉ネットワーク会議」等を構築してきました。そこには「生活支援コーディネーター（SC）」が関わりながら、地域課題の把握やその対応を検討しています。SCは複数地区を担当しておりますので、他地区の情報等を提供することも可能です。

地域住民からの相談に関しては、「高松型地域共生社会構築事業」の中で、本庁及び各総合センターに「つながる福祉相談窓口」を設置しているほか、「まるごと福祉相談員」による、地域に出向いての相談支援を行っております。「まるごと福祉相談員」はSCが兼ねており、今後も地域の拠点へ出向いて情報収集を行い、困りごとを抱える人や世帯の相談支援、関係機関と連携した支援を行ってまいります。

意見の概要

「配食弁当は栄養のバランスの手本になる」とあるが、身体活動（運動や社会活動）のうち「家事活動は体力維持に有効」とあり、配食弁当に偏らず中食利用によるひと手間加えた炊飯の組合せを推奨したい。

市の考え方等

利用者一人一人の身体機能や生活環境等を踏まえ、自立支援に資する提案ができるよう努めてまいります。

意見の概要

ITCを使用した介護予防手段は、今後の活動の大きな柱となるであろう。

市の考え方等 今後、ますますインターネットが情報収集の重要な手段となるとともに、自ら情報を得ようとする意識の差によって、生活の質にも差が生じることが予想されますことから、出張スマートフォン教室等に取り組み、高齢者のＩＣＴ使用を支援してまいります。

意見の概要 保健委員会の立場として、会のある毎に保健センターからの「フレイルとは」のチラシを配って説明をしている。フレイルとは、筋肉・認知機能等を含む生活機能が低下して、将来要介護状態となる危険性が高い状態、フレイル予防は介護予防であると話している。チラシは目で見て分かりやすいと好評である。

市の考え方等 本市が作成したチラシを活用していただき、ありがとうございます。
このチラシのほか、地域包括支援センターでは、担当する介護支援専門員が、利用者にフレイル予防のリーフレットの配布やのびのび元気体操の動画を紹介し、フレイル予防の周知・啓発に努めています。
また、長寿福祉課では、居場所の訪問時や運動教室・各種講座にて、クリアファイル等の啓発グッズを配布するなどして、フレイル予防の周知啓発を行っています。

意見の概要 「高齢者が自分らしく安心して暮らし続けられる地域の実現へ」の「自分らしく」とは、具体的にどう読み解けばいいのか。

市の考え方等 地域包括支援センターでは、「自分らしさ」について、高齢者本人の意思を尊重し自己決定できることと捉え支援をしております。利用者がどのような生活を望んでいるのかという意向を踏まえるとともに、消極的・拒否的な意向の場合であっても、その理由を理解するよう努め、本人の思いを引き出し、その実現に向けて支援できるよう努めております。

④ その他議題（３）に関する意見

意見の概要 県下一円、とりわけ高松市はオミクロン株がまん延状態にあり、市民各自の認識とワクチン接種の促進、特に高齢者の３回目の接種が急務である。

市の考え方等 新型コロナウイルス感染症に関する情報は、高松市ホームページに掲載し、随時更新しているほか、新型コロナウイルスワクチンの３回目接種については、国の事務連絡で、一般の高齢者及び６４歳以下の接種間隔が短縮となったことを受け、２回目接種から６か月経過すれば接種可能として、接種券一体型予診票を順次送付しています。また、接種率が低い若年層の接種を促進するため、ＳＮＳを活用した啓発動画の配信などで若者へワクチン接種を呼びかける「高松市 Be A Hero Project」を実施しています。

意見の概要 フレイル予防に努めるとともに、ＡＤＬの確保はもとよりＩＡＤＬの向上が望まれる。

市の考え方等 フレイル予防として、運動教室や各種講座を開催しておりますほか、地域包括支援センターでは、利用者の目標達成に向け、ＡＤＬやＩＡＤＬの維持・向上につながるケアプランを作成し、モニタリング時に状況確認を行っております。
今後も、適切なケアマネジメントの実施により、ＡＤＬ、ＩＡＤＬの向上に向けた支援をしてまいります。